

平成28年度事務事業評価シート

平成28年5月30日作成

事業番号	177	担当課等	農林水産課							
事務事業名	農業技術指導員推進活動事業									
予算科目コード	会計	01	款	05	項	01	目	03	事業開始年度	昭和 63 年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P46 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	II 地域産業の振興	3 農業	(3) ふれあい農園・遊休農地の活用	① ふれあい農園の規模拡大
関連する個別計画					
目的	農業の活性化を図るため、農業経験のないふれあい農園の利用者に対して、営農・栽培技術を指導し農業の活性化を図る。				
対象	ふれあい農園利用者及び農家				
内容	農業の専門技術者を雇用し、農業経験のないふれあい農園の利用者に対して、営農・栽培技術を指導する。				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成26年度(決算)	平成27年度(決算)	平成28年度(見込)		
コスト	事業費	430,000	408,000	408,000		
	人件費	常勤職員				
		非常勤職員等				
		人件費合計	0	0	0	
	総事業費	430,000	408,000	408,000		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	430,000	408,000	408,000		
	財源合計	430,000	408,000	408,000		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値	
実施活動日数	実施活動日	日	40	40	40	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値	

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	A	ふれあい農園振興事業と一体の事業であるため、ふれあい農園を存続する限り町が行うべきである。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	B	継続することにより、土とふれあう喜びや作物を作る喜びを与え農業に興味を持ってもらう。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	A	ふれあい農園の利用者にとっては、直接農業指導員から農業知識が学べ指導が受けられるので有効である。また、農業への理解が進む。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A	ふれあい農園利用者にとっては、受益は均等である。

平成27年度までの改善点	特になし
--------------	------

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし
平成29年度以降の方向性	継続的に事業を行うために農業指導員の確保するよう努める。

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業指導員の確保に努め現状を維持しつつ、農家を対象とした農業相談(予約制)で行っていくこと。</li> <li>・費用効果について検証するべき。</li> </ul>
---

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成28年度事務事業評価シート

平成28年5月30日作成

事業番号	181	担当課等	農林水産課									
事務事業名	農林水産まつり開催事業											
予算科目コード	会計	01	款	05	項	01	目	03	事業開始年度	平成	16	年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P46等 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあ るまちづくり	II 地域産業の振興	3, 4, 5 農業、林業、漁業 海業	(2)等 農業経営の高度 化の推進等	⑧ 朝市・直売化の促進
関連する個別計画					
目的	本町の農林水産物を広く町民に紹介し、農林水産業者と消費者の交流を図り 識を広めるとともに、消費の拡大を図る。また、農産物共進会を併せて開催するこ とにより、生産者の技術の向上及び経営意欲の改善を図る。				
対象	町民及び近隣市町村の消費者と本町の農林水産業者				
内容	農林水産まつり開催に際し、必要な経費の補助を行う。				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成26年度(決算)	平成27年度(決算)	平成28年度(見込)		
コスト	事業費	800,000	800,000	800,000		
	人件費					
	常勤職員					
	非常勤職員等					
	人件費合計	0	0	0		
	総事業費	800,000	800,000	800,000		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	800,000	800,000	800,000		
	財源合計	800,000	800,000	800,000		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値
補助金申請額		補助金申請書	円	800,000	800,000	800,000
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値
補助金支出額		収支決算による	円	2,825,174	2,927,321	800,000

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	B	みかんの品評会として発足。中央農協、湯河原農協が交互に行っていた。町が主体となって行うべきものか再考の余地があると推察する。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	B	効果は得られていると判断する。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	A	町の内外に、農産物や水産物等の紹介ができる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A	この事業に参加する者、または現地へ来場するものすべてに受益の機会がある。
平成27年度までの改善点	毎年アトラクション等の催しを変化させることにより、リピーターを増やす。		

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善 (実績または予定)	開催場所が変更し、太鼓の演奏等にぎやかな催しを追加する予定。農協に、品評会の出品数の確保や、運営についての協力を強く求めていく。
平成29年度以降の方向性	品評会への出点数を確保すべく、農協及び農家に協力依頼を行う。

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(見直し)	品評会への出品点数を確保するのがだんだんと難しくなっているため、原因を分析し改善すること。
------	---------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・新たな会場の確保を検討するべき。
-------------------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(見直し)	品評会への出品点数を確保するのがだんだんと難しくなっているため、原因を分析し改善すること。
------	---------	---

平成28年度事務事業評価シート

平成28年8月2日修正

事業番号	789	担当課等	農林水産課									
事務事業名	地産地消推進事業											
予算科目コード	会計	01	款	05	項	01	目	03	事業開始年度	平成	20	年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P45 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	II 地域産業の振興	3 農業	(2) 農業経営の高度化の促進	(4) 農業形成の安定化の推進
関連する個別計画					
目的	農産物の販売を目的とした、朝市等イベントへの参加、開催、消費拡大に伴うPR活動をする町内の農家等を支援する。				
対象	農協女性部・駅前農産物直売運営協議会・JA湯河原営農経済センター				
内容	地産地消の推進に向けた取り組みに対し、補助を行う。 過去には、農産物直売所運営協議会の活動支援、湯河原営農経済センター(産地表示カード) 農協女性部加工施設新設、改装等の補助を行った。				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成26年度(決算)	平成27年度(決算)	平成28年度(見込)		
コスト	事業費	151,940	1,005,000	200,000		
	人件費					
	常勤職員					
	非常勤職員等					
	人件費合計	0	0	0		
	総事業費	151,940	1,005,000	200,000		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	151,940	1,005,000	200,000		
	財源合計	151,940	1,005,000	200,000		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値
補助金交付件数		実施件数	件	4	2	4
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)		
必 要 性	町が実施する必要があるのか	A 一生懸命に農業を行っている農家団体に対し、町として地場産業の育成・保護することは必要である。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	B 徐々に売り上げを伸ばしており、即効性はないが、継続的に行うことにより、消費者に名前、味を知らしめている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	B 成果が出てるまでに、期間を要するが、農業団体の意欲の向上が図れる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	B 地域の特性を生かして生産している農家団体にとっては、均等である。
平成27年度までの改善点	観光イベントに絡めて活動してきた。	

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善 (実績または予定)	湯河原産のおいしさ、安全性をより多くの消費者にアピールするため、農業団体の活動PR等に補助していく。(仮)ゆがわら地場産品直売所の設立検討委員会を開催する。
平成29年度以降の方向性	(仮)ゆがわら地場産品直売所の設立、設計、施工に向け準備する。

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	ゆがわら地場産品直売所の設置を早急に検討し、さらなる地産地消の推進を図ること。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・観光戦略などと共に、更なる事業の推進を図るべき。
---------------------------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成28年度事務事業評価シート

平成28年5月30日作成

事業番号	996	担当課等	農林水産課									
事務事業名	農地保全事業											
予算科目コード	会計	01	款	05	項	01	目	03	事業開始年度	平成	23	年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P45 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	Ⅱ 地域産業の振興	3 農業	(2) 農業経営の高度化の促進	① 耕作放棄地対策
関連する個別計画					
目的	農地の確保及び有効利用の促進を図る必要から、現在耕作放棄地となっている農地を使用貸借し、景観作物を作付けし、農地の保全を図り、農業者、新規就農者に対し農地の有効利用等の促進を図る。				
対象					
内容	菜の花、コスモス等の景観作物を作付けし、花を咲かせる。				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成26年度(決算)	平成27年度(決算)	平成28年度(見込)		
コスト	事業費	172,501	195,017	250,000		
	人件費					
	常勤職員					
	非常勤職員等	128,250	264,000	268,000		
	人件費合計	128,250	264,000	268,000		
	総事業費	300,751	459,017	518,000		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	300,751	459,017	518,000		
	財源合計	300,751	459,017	518,000		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値
景観作物の植付種類			種	2	2	2
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値
植えつけ箇所			箇所	1	1	1

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	A	耕作放棄地対策として行う必要がある。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A	毎年作付した菜の花・コスモス等の花が咲き、景観がよく好評を得ており、景観景観形成の面からも効果がある。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	B	景観作物を植えることだけではなく、利用方法を含めた作物の選定が必要となってくる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か		
平成27年度までの改善点	特になし		

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善(実績または予定)	菜の花を観賞用と食用で種まきのエリアをわけ、食用についてはその利用方法を検討する。
平成29年度以降の方向性	耕作放棄地の保全に努め、放棄地が拡大しないよう農業委員会と連携していく。

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	耕作放棄地の保全にさらに努めること。
------	----------	--------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・耕作放棄地の利活用方法を検討する。
--------------------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(見直し)	耕作放棄地の利活用を検討。
------	---------	---------------

平成28年度事務事業評価シート

平成28年5月30日作成

事業番号	1269	担当課等	農林水産課							
事務事業名	(仮称)ゆがわら地場産品直売所検討事業									
予算科目コード	会計	01	款	05	項	01	目	03	事業開始年度	平成 28 年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P46 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふ れるにぎわいのあ るまちづくり	Ⅱ 地域産業の振興	3 農業	(2) 農業生産基盤の 整備	⑧ 朝市・直売化の促進
関連する個別計画					
目的	地場産品の直売所の開設に向け、運営方法、組織等必要な諸問題に関し検討委員会を設置する。				
対象	町、農林水産業者、消費者				
内容	直売所開設にあたり、組織、規約等など必要な諸問題を検討する。				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成26年度(決算)	平成27年度(決算)	平成28年度(見込)	
コスト	事業費			221,000	
	人件費				
	常勤職員				
	非常勤職員等				
	人件費合計	0	0	0	
	総事業費	0	0	221,000	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	0	0	221,000	
	財源合計	0	0	221,000	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値
検討委員会開催回数	諸課題の検討	回			4
出席延人数		延人			40
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか		
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか		
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか		
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か		
平成27年度までの改善点			

4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善 (実績または予定)	特になし
平成29年度以降の方向性	直売所開設にむけ各検討を行い、早急に開設をしていきたい。

5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・直売所の開設に向け、年次計画を策定する必要がある。
----------------------------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成28年度事務事業評価シート

平成28年5月30日作成

事業番号	780	担当課等	農林水産課									
事務事業名	桜郷地区森林整備事業											
予算科目コード	会計	01	款	05	項	02	目	01	事業開始年度	平成	20	年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P48 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあ るまちづくり	II 地域産業の振興	4 林業	(1) 林業整備の整備	② 生活環境保全林の整備
関連する個別計画					
目的	対象地が(夫婦の桜)に隣接していることから、梅の宴終了後に桜が開花することにより、新たな花の名所として切れ目のない集客が期待できる。				
対象	観光客				
内容	平成20年度から平成24年度の5か年で桜に改植した桜郷地区の維持管理委託(草刈等)				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成26年度(決算)	平成27年度(決算)	平成28年度(見込)		
コスト	事業費	394,360	160,000	400,000		
	人件費	常勤職員				
		非常勤職員等				
		人件費合計	0	0	0	
	総事業費	394,360	160,000	400,000		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	394,360	160,000	400,000		
	財源合計	394,360	160,000	400,000		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値	
維持管理面積	桜の木に改植した面積	ha	1	1	1	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値	
実施面積	維持管理作業を行った面積	ha	1	1	1	

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	A 保健保安林及び町有地であるため、管理は必要である。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A 必要最小限の費用である。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	A 下草刈りを行うことにより、良好な林地環境を維持している。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A 現地へいった人のみが享受できる。
平成27年度までの改善点	特になし	

#### 4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善 (実績または予定)	特になし
平成29年度以降の方向性	森林整備として桜への改植をしたので、維持管理については今後も継続的に行っていく。

#### 5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	森林整備として桜の木へ改植したので、維持管理する必要がある。
------	----------	--------------------------------

#### 6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし
-------

#### 7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成28年度事務事業評価シート

平成28年5月30日作成

事業番号	202	担当課等	農林水産課								
事務事業名	漁業振興対策事業										
予算科目コード	会計	01	款	05	項	03	目	01	事業開始年度	昭和	年度

1 事業概要(平成28年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P50 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	Ⅱ 地域産業の振興	5 漁業海業	(3) 漁業経営改善の促進	② 設備の近代化促進
関連する個別計画					
目的	漁業振興のため、福浦漁協が実施する定置網漁、経営の改善、近代化事業等に対して助成する。				
対象	福浦漁業協同組合				
内容	倉庫の屋根補修、しら取替、海水ポンプ修理、係留ロープ交換等に対する助成				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成26年度(決算)	平成27年度(決算)	平成28年度(見込)	
コスト	事業費	950,000	950,000	950,000	
	人件費				
	常勤職員				
	非常勤職員等				
	人件費合計	0	0	0	
	総事業費	950,000	950,000	950,000	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	950,000	950,000	950,000	
	財源合計	950,000	950,000	950,000	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値
補助金支出金額	補助金申請による	円	950,000	950,000	
漁業組合実績報告	実績報告書による	円	1,852,533		
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成26年度	平成27年度	目標値
冷凍庫			1		1
係留ロープ			1		1

3 平成27年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	B 町管理の漁港であるので維持管理は町が行うべきものである。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A 施設の維持間であるので、結果は目に見える。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	D 主として、施設の維持管理修繕に使用されているが、事業は計画的及び継続的に行っていく必要がある。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A 漁業協同組合及び組合員であれば均等である。

平成27年度までの改善点	特になし
--------------	------

#### 4 見直し及び改善

平成28年度の見直し及び改善 (実績または予定)	特になし
平成29年度以降の方向性	町補助金交付要綱に基づいて、補助金を拠出する。

#### 5 一次評価(平成29年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(見直し)	漁業振興に向けた事業を展開できるよう指導していくこと。
------	---------	-----------------------------

#### 6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方創生の観点からも検討する必要がある。</li> <li>・補助の必要性などについて検討すべき。</li> </ul>
--

#### 7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(見直し)	漁業振興に向けた事業を展開できるよう指導していくこと。
------	---------	-----------------------------